

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

あとらす

令和6年3月1日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員とスペースは適切である。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			加配職員を含め適切な配置をしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		事業所が2階にあり、階段がある。室内の段差は配慮している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			業務において職員が参加し話し合いの場がある。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けのアンケートを実施している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価はしていない。検討中。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修と伝達研修を行ない、職員の研修をしている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者や児童との面談を行ない、個別支援計画における課題分析を行なっている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			視覚支援を行なっている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			年間計画に基づき職員全体で話し合っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			行事を積極的に取り入れ、活動プログラムを当日の天候等を配慮して決めている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日と長期休み等、課題や活動が被らない様に配慮している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			臨機応変に活動出来る様にしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援前に毎日の準備と打ち合わせの実施をしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後、翌日のミーティングで前日支援の振り返りをしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録を徹底している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			個別のケース会議を開き、モニタリングしている。

	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が参加する様になっている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		送迎時に学校の先生と連絡を密に取り合っている。また、随時、学校と連絡を取りあう環境を作っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	受け入れていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		移行会議には出席し、情報共有に努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		卒業する児童の情報を進路先に申し送っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		基幹センターとの連絡・連携を行なっている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	交流活動は出来ていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		協議会へは積極的に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者との引継ぎ時に状況や課題の情報共有を行なっている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	ペアレントトレーニングは行なっていない。
	保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	
㉛		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からの相談には真摯に向き合っている。
㉜		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者の会開催は行なっていない。

	③③	子どもや保護者からの 苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に周対応しているか	○			体制を整えている。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページにて保護者へ発信している。	
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			十分注意している。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			引継ぎ時、保護者との情報共有をしている。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域との繋がりについては検討中。	
	非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員に徹底している。
		③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回の全体での避難訓練を実施している。
④⑩		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修を毎年必ず行なっている。 虐待防止委員会を設置している。	
④⑪		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束はしない旨を掲げ、契約書にて記載し、職員間で周知徹底を図っている。	
④⑫		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食物アレルギー児童の情報を家族から聞き、対応している。	
④⑬		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			様式を活かし活用していく。	